

第3回湯沢市地方創生推進会議 報告書

- 1 日 時 平成27年9月15日（火） 15:00～16:45
- 2 会 場 湯沢市役所本庁舎4階 41会議室
- 3 出席委員 全委員出席（代理出席1名）
- 4 案 件 ①湯沢市人口ビジョン骨子案について
②湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子・概要案について
③情報提供について

■委員から出された主な意見等と湯沢市からの回答

委員	CCRCを導入することで、市として介護費や医療費の負担が増えることが予想されるが、どのように考えているか。
市	CCRCについては、国でも有識者会議等で財政支援を検討中であり、国の動向を注視し、導入を検討していく。

委員	CCRCの導入と、戦略4のチャレンジパッケージ2における若者と女性の活躍の創出については、相反する施策ではないか。
市	高齢者人口の増加と若者等のプレゼンスの発揮は両立可能である。むしろ、CCRCによる高齢者の増加に対して、若者の活躍や意見の反映を制度的に担保し、人口比とのバランスを整えるような取り組みが必要と考える。

委員	戦略4のチャレンジパッケージ3で取り組む新たな協働、自治について、どのような方向性を考えているか。
市	多様な主体同士によるネットワークづくりや、自主財源の確保に取り組む地域や市民を支援し、持続可能な地域づくりを目指していく。

委員	戦略4のチャレンジパッケージ1でテーマとなっている地熱の活用について、将来的にどのような可能性があるのか。
市	国では地熱発電をベースロード電源と考えており、今後も導入が推進される中で、市内での開発も進展が予想され、市としては地域により大きなメリットが生じるよう国に制度改正等要望していく。発電以外でも、熱水を活用した低コストなハウス栽培の拡大等、農業や観光業への活用を期待している。

委員	教育分野の施策も検討すべきではないか。
市	ふるさと教育、地元の優良企業についての理解促進や結婚・出産・子育てについての教育が重要と考えられ、今後、個別具体の事業を検討していく。

第3回 湯沢市地方創生推進会議 出席者名簿

NO.	氏 名	所 属 等	備考
1	高久 臣平	湯沢商工会議所青年部会長	副会長
2	兼子 正寛	ゆざわ小町商工会青年部長	
3	山脇 知之	こまち農業協同組合総務課主幹	
4	渡部 千晶	湯沢市観光物産協会	
5	平野 明德	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所長	
6	茂木 伸宏	湯沢公共職業安定所長	
7	飯塚 久芳	秋田県雄勝地域振興局総務企画部地域企画課長	
8	石沢 真貴	秋田大学教育文化学部准教授	会長
9	戸田 譲	北都銀行湯沢支店長	
10	三浦 力	秋田銀行湯沢支店	
11	佐藤 満	連合秋田横手湯沢地域協議会	代理出席
12	岩野 豪	湯沢青年会議所理事長	
13	山内 今日子	NPO法人まちおこし結っこ理事長	